

「第2期 三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」修正箇所一覧

※この一覧には、第2期三原市まち・ひと・しごと総合戦略(令和2年3月)の策定時から修正等があったものをすべて掲載しています。

1 新規事業として追加するもの

通し番号	事業番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	追加理由
		施策名	事業群				
1	24	1	働く場づくりへの挑戦	障害者就労推進事業	●働きたい障害のある人が、気軽に相談できる場所を設置し、個々の状況にあった支援提供や伴走により、安心した生活を確保するとともに就職や職場定着の場面で、今ある資源を十分活かせる連携体制を構築する。また、企業が感じる不安や対応について、企業視点で共に考え、障害者雇用を積極的に進める企業の増加を図る。	■就労した障害のある人の人数 R4 ー(未調査) ↓ R6 100件	令和5年度当初予算による新規事業(障害のある人が、安心した生活が継続できるよう就労支援を強化することを目的とするもの)
		(4) 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている	若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人等の就労支援				
2	37	2	交流人口拡大への挑戦	車中泊旅促進事業	●新型コロナウイルスの影響を踏まえ、他者との接触が少なく、感染リスクが低いと考えられるキャンピングカーでの旅行を促進し、市外からの来訪者増加を図るため、すなみ海浜公園や道の駅よがんす白竜に駐車区画、シャワー設備、Wi-Fi環境などの整備を行う。	■すなみ海浜公園、道の駅よがんす白竜におけるキャンピングカーでの利用件数: R4 10件 ↓ R6 30件	【総合戦略審議会からの指摘】 新型コロナウイルス感染症の影響とともに、車中泊旅をする人が増加し、シャワールームやコインランドリーを設置する道の駅が増えてきている。車中泊旅をする人たちに喜ばれるサービスを充実させることで利用者を拡大できないか。 ⇒令和4年度当初予算による新規事業において、事業実施
		(1)「三原ならではの」魅力的なコンテンツが整っており、市を訪れる人が周遊・滞在している	観光メニューの開発				
3	55	3	子ども・子育てへの挑戦	若者出会い交流応援事業	●結婚を希望する独身者の婚活を支援するため、縁結びサポーターによる婚活イベントを開催し、出会いと交流の場を提供する。	■婚活イベント実施回数(市単独での開催): R4 2回 ↓ R6 2回	令和4年度当初予算による新規事業
		(1) 出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細やかな支援体制が充実している	出会いから結婚までの支援				
4	56	3	子ども・子育てへの挑戦	結婚新生活支援事業	●婚姻と定住を促すため、新婚世帯を対象に住宅取得、住宅賃借、引越費用等の一部に対して補助金を交付する。	■事業申請世帯数: R3 10世帯 ↓ R6 18世帯	令和4年度当初予算による新規事業
		(1) 出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細やかな支援体制が充実している	出会いから結婚までの支援				
5	61	3	子ども・子育てへの挑戦	妊産婦・新生児・乳児健康診査事業	●妊産婦の健康管理及び新生児・乳児の順調な成長発達を促すため、健康診査に係る費用の一部を補助する。	■乳児健診受診率(1ヵ月及び10ヵ月健診の受診率で計測) R3 87.9% ↓ R6 100%	令和4年度当初予算による新規事業
		(1) 出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細やかな支援体制が充実している	妊娠・出産の支援				
6	67	3	子ども・子育てへの挑戦	子育て世帯家事支援事業	●家事・育児に不安や負担を抱える子育て世帯、妊産婦、ヤングケアラーがいる家庭に訪問支援員を派遣し、家事などを支援する。	■家事支援を利用した世帯数 R5 25世帯 ↓ R6 40世帯	令和5年度当初予算による新規事業(安心して子育てできる環境整備を目的とするもの)
		(2) 子育ての支援環境が充実している	仕事と家庭の両立支援				
7	78	3	子ども・子育てへの挑戦	仕事体験提供事業	●小学生を対象に、仕事・職業に関する学び・体験の場を提供し、興味関心の拡大と将来について考えるきっかけづくり、次世代の人材育成を図る。	■仕事体験講座等への参加人数 R5 890人 ↓ R6 890人	令和5年度当初予算による新規事業(子どもの学び・体験の場を目的とするもの)
		(2) 子育ての支援環境が充実している	安心して子育てできる環境整備				
			(3) 魅力的な教育プログラムが行われており、三原の教育の質が高まっている		子どもたちの三原への愛着醸成		

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	追加理由
		施策名	事業群				
		事業群					
8	88	4	市民の健康づくりへの挑戦 (2)市民が気軽に楽しく健康づくり活動に取り組んでいる 健康づくり活動の定着に向けた支援	スポーツ実施率向上事業	●「佐木島ロードレース」や「スポーツのテーマパーク」等の実施を通じ、スポーツに触れる・体験する機会を積極的に提供することで、市民のスポーツ実施率を向上させ、健康で心豊かな生活を送るとともに、スポーツを通じて地域等とつながることのできるまちをめざす。	■生涯スポーツイベントへの参加を通じて「これからも継続してスポーツに取り組みたい」と感じた参加者の割合 R5 ー ↓ R6 55.0% ■1年間ほぼスポーツをしない市民の割合 R5 37.6% ↓ R6 28.8%	令和5年度当初予算による新規事業 (スポーツを通じた健康づくり活動の定着や地域とのつながりの強化を目的とするもの)
9	100	5	選ばれるまちへの挑戦 (1)関係人口(三原の応援者や三原と関わりを持つ人)が増えている 関係人口創出の取組強化 (2)UJJターン者を支援する体制が充実している 訴求力のある移住情報の発信	デジタルマーケティング活用事業	●関係人口の創出、移住定住の促進に取り組むため、デジタル広告の企画・配信、PR素材の作成、効果測定・分析等を実施する。 ●移住ポータルサイト「すんでみはら。」のコンテンツを拡充や、地域おこし協力隊と連携した情報発信により、移住検討者の呼び込みを図る。	■移住ポータルサイト「すんでみはら。」年間セッション数: R3 54,000回 ↓ R6 167,000回	【総合戦略審議会からの指摘】 地域おこし協力隊の中には、SNSなどでの情報発信を得意とする人も少なくない。この情報発信力を活かすことで、三原への関心が高まったり、市外から人が来ることもあるはず。協力隊をもっと関係人口拡大へ活かしていくべき。 ⇒令和3年度から運用を開始した移住ポータルサイト「すんでみはら」におけるデジタルマーケティングを新規事業として掲載し、当サイトにおいて地域おこし協力隊と連携した情報発信に取り組む。
10	104	5	選ばれるまちへの挑戦 (2)UJJターン者を支援する体制が充実している 移住支援の取組強化	移住体験事業	●移住検討者を対象に、実際に本市を訪れ、地域住民との交流や生活を体験する移住体験ツアーを開催し、本市への移住を促す。	■ツアー参加者数: R3 0人 ↓ R6 45人	令和4年度当初予算による新規事業
11	105	5	選ばれるまちへの挑戦 (2)UJJターン者を支援する体制が充実している 移住支援の取組強化	移住支援事業	●東京23区に在住又は通勤している者が、広島県移住・マッチング支援事業を通じ、就業や起業等を行い、市内に移住した場合に移住支援金を交付する。	■本制度を活用した移住者数: R3 1人 ↓ R6 1人	令和4年度当初予算による新規事業
12	106	5	選ばれるまちへの挑戦 (2)UJJターン者を支援する体制が充実している 移住支援の取組強化	就労・移住定住支援事業	●幼稚園教諭、保育士、保育教諭の新規就労者(市内在住者も可)に対し、就労奨励金を交付する。併せて、人材が不足する民間施設(医療、介護、幼稚園、保育園等)へ新規就労する移住者に対し、引越費、家賃、養育費の一部を移住支援金として交付する。	■本制度の活用者数 R4 15人 ↓ R6 15人	令和4年度当初予算による新規事業
13	107	5	選ばれるまちへの挑戦 (2)UJJターン者を支援する体制が充実している 移住支援の取組強化	移住サポート事業	●移住検討者に対する相談体制を強化するため、民間と連携した住宅、就業、起業等の斡旋や支援のほか、地域とつなぐ案内など、寄り添った継続的なサポートを提供する。	■市の窓口での一次相談に続き、二次相談として住宅や仕事等について対応した件数: R4 30件 ↓ R6 上昇	令和5年度当初予算による新規事業 (移住定住の促進を目的とする)

2 一部変更を行うもの(実施状況等により、KPI・事業名・事業概要・達成度を測る指標の一部を変更)

(1) KPIに関する変更

「基本目標1 働く場づくりへの挑戦」におけるKPIの設定

(1) 新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている

通し番号	指標	基準値	目標値	設定理由
1	新たに誘致した企業により創出された雇用数	0人(R1)	500人(R6)	・基準値を新たに設定する。(→0人) ・新型コロナウイルスの影響を受けた企業進出の状況変化に伴い重要業績評価指標(KPI)を修正する。(下方修正:1,000人→500人)

(3) 市内事業者の活動が活発化している

2	事業所数及び製造品出荷額(従業者4人以上の事業所)	181事業所 394.393百万円	上昇(R6)	【総合戦略審議会からの指摘】 市内事業者の活動が活発化していることを表すKPIとして、事業者の活動がより正確に捉えられる指標があるのではないか。 ⇒市内事業者の活動がより正確にとらえられる重要業績評価指標(KPI)へ変更 ※以前は、小売業のみを対象としていたが、市内にある従業員4人以上の事業所を対象とする
---	---------------------------	----------------------	--------	--

(4) 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている

3	女性(25～39歳)の就業率	69.5%(H27)	75%(R7)	・長期総合計画の指標と整合を図るため、変更する。
---	----------------	------------	---------	--------------------------

「基本目標2 交流人口拡大への挑戦」におけるKPIの設定

(2) まちの魅力を紹介できる市民が増加するなど、市を訪れる人に「おもてなし」を行う環境が整っている

4	おもてなし人材育成数(累積値)	96人(R2)	220人(R6)	・基準値及び目標値を新たに設定する。
---	-----------------	---------	----------	--------------------

(3) 効果的なプロモーションにより、三原の魅力や観光情報が発信されている

5	インターネットのアクセス数	35,512件(R2)	70,000件(R6)	・令和3年度に市HPの観光情報ページをリニューアルし、情報発信に取り組んでいるため、新たに目標値を設定
---	---------------	-------------	-------------	---

(5) 広域での連携により、交流人口拡大につながる効果的な取組が実施できている

6	広域連携により誘客促進につながった市外からの観光客数	2,200千人(H31)	3,200千人(R6)	・的確に数値化できるようにするため、重要業績評価指標(KPI)を変更する。
---	----------------------------	--------------	-------------	---------------------------------------

「基本目標4 市民の健康づくりへの挑戦」におけるKPIの設定

(2) 市民が気軽に楽しく健康づくり活動に取り組んでいる

7	健康づくり活動に取り組んでいる市民の割合	63.3%(R4)	70%(R6)	・「第2期健康・食育みはらプラン」の策定開始に伴い、調査等を実施したことから、この内容を踏まえ基準値及び目標値を新たに設定する。 アンケート内容「日頃から健康づくり(健診・食事・運動など)に取り組んでいる人の割合」
---	----------------------	-----------	---------	--

「基本目標5 選ばれるまちへの挑戦」におけるKPIの設定

(1) 関係人口(三原の応援者や三原と関りを持つ人)が増えている

8	中間支援組織の機能強化(中間支援組織による自立・自走型の関係人口創出事業の取組件数)	R4年度に設定	R4年度以降に設定(R6)	【総合戦略審議会からの指摘】 事業を通じて創出された関係人口の目標値を135人としているが、この場合「関係人口」を具体的にどのようにとらえているのか。そもそも「関係人口」を数値化するのには、難しいのではないかと。 ⇒上記の指摘を踏まえ、当KPIについては、事業成果を的確に数値化できるものとして、「中間支援組織の機能強化」へ変更する。評価方法については、関係人口の中間支援組織の機能として、人員、事業の企画・実施件数、資金確保等の面に関して過去の実績と比較し、評価を行うこととする。
---	--	---------	---------------	---

(2)事業に関する変更（下線は修正箇所） ※事業番号は、改定後のものです。

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
1	1	1 働く場づくりへの挑戦	市内産業団地への企業誘致	企業誘致促進事業	●広島県と連携し、本郷産業団地を中心とした企業誘致活動を実施する。 ●企業誘致促進本部を随時開催するなど企業誘致及び立地企業の円滑な操業に関することなどについて協議・検討する。	■市内産業団地への誘致企業数(累計): H31 0社 ↓ R6 6社	・事業概要及び達成度を測る指標を、実際の内容に合わせて変更する。
		(1) 新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている					
2	2	1 働く場づくりへの挑戦	強みを活かした企業誘致	農業参入企業支援事業	●農業参入企業を誘致し雇用の確保を図る。 ●参入企業がめざす営農計画の実施に必要な支援を行う。	■農業への企業参入件数: H31 9件 ↓ R6 11件(雇用者数55人)	【総合戦略審議会での意見】 この事業の成果として雇用者数などが達成度を測る指標などに反映されるようにすべきではないか。 ⇒上記意見を踏まえ、目標とすべき雇用者数を達成度を測る指標に追加する。
		(1) 新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている					
3	5	1 働く場づくりへの挑戦	新規就労者の確保・育成	強い農業・担い手づくり総合支援事業	●産地の収益力強化と担い手の経営発展を推進するため、産地・担い手の発展の状況に応じて、必要な農業用機械・施設の導入を農業経営体の規模に応じ支援する。	■支援件数(累計): H31 0件 ↓ R6 5件	・達成度を測る指標の基準値を変更する。
		(2) 農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している					
4	8	1 働く場づくりへの挑戦	農業・水産業の経営力向上支援	6次産業化支援事業	●市内先行事例の水産物加工をモデルケースとし、市内の農水畜産物の販路拡大により、1次産業者の所得向上をめざす。	■6次産業化(缶詰)売上額: R3 0千円 ↓ R6 1,332千円	・事業概要及び達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。(変更前:■6次産業化売上額)
		(2) 農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している					
5	11	1 働く場づくりへの挑戦	農業・水産業の経営力向上支援	スマート農業支援事業	●ドローン防除、リモコン草刈機など、農作業の省力化につながる新技術の動向を注視し、実証実験に取り組む。	■スマート農業取組件数: R2 0件 ↓ R6 10件	・達成度を測る指標の基準値を変更する。
		(2) 農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している					

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
6	12	1	働く場づくりへの挑戦	起業化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●創業支援事業計画に基づき、特定創業支援事業修了者に対し、創業資金の利子補給、店舗の改修費・家賃補助等の上乘せ支援をする。 ●起業・創業を支援するため、空き店舗や空きビルを活用したサテライトオフィスや共有オフィス等の整備や運営等の支援を行う。 ●地域経済の新たな活力を生み出すため、産業の集積及び地域産業が育ちやすい環境整備と総合的な起業の育成支援体制を構築する。 ●第二創業者に対する新事業展開の支援及び新規起業者の育成・創業支援に向けた施策を計画的・効率的に進めるため、産学官金連携による三原市起業化促進連携協議会を設立し、コーディネーターを配置した支援拠点の設置・運営を支援する。 ●上記の支援拠点において、相談・セミナー等を開催するとともに、創業希望者のフェーズに応じた創業支援を通じ、新たな就業・雇用の場を創出する。 ●起業後においても、経営診断の実施等、伴走型支援の実施や、既存企業とのマッチングなど、経営の発展につながる支援を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■創業者延べ人数： H30 92人 ↓ R6 116人 ※創業支援事業計画指標 ■創業支援者延べ件数： H30 258件 ↓ R6 270件 ※創業支援事業計画指標 ■経営指導した延べ件数： H30 58件 ↓ R6 70件 ※創業支援事業計画指標 ■市の補助金を活用した起業・創業者数： H30 12件/年 ↓ R6 16件/年 ※創業支援事業計画指標 	<p>【総合戦略審議会での意見】</p> <p>起業・創業への支援に取り組んでいるが、立ち上げて以降の伴走型の支援が重要となる。売上高をどのように伸ばしていくか、既存企業との提携に向けたマッチングなどが必要ではないか。</p> <p>⇒上記意見を踏まえ、事業概要として経営診断等の実施や、既存企業とのマッチング支援などによる伴走支援を実施し経営発展につなげていくことを加える。</p> <p>・達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。 ■創業者延べ人数(上方修正) ■経営指導した延べ件数(上方修正)</p>
		(3) 市内事業者の活動が活発化している	起業・創業の支援				
7	13	1	働く場づくりへの挑戦	サテライトオフィス誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> ●広島県によるサテライトオフィス導入促進事業と連携し、IT関連企業等のサテライトオフィスの誘致を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■誘致数： H31 0件 ↓ R6 5社 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成度を測る指標の基準値を変更する。
		(3) 市内事業者の活動が活発化している	起業・創業の支援				
8	14	1	働く場づくりへの挑戦	高度なビジネス人材育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●スタートアップ創出シティカレッジを運営し、市内で起業を志す人材や社内ベンチャーを志す人材への支援を行うことで、地域における新産業の創出、雇用の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■起業及び社内ベンチャー件数(累計) R3 4件 ↓ R6 12件 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要及び達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。(変更前:当該取組により支援した人数(累計))
		(3) 市内事業者の活動が活発化している	人材育成の支援				
9	16	1	働く場づくりへの挑戦	中心市街地活性化支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の活性化に向けた取組を促進する事業主体となる、まちづくり会社の体制強化を図るため、中心市街地活性化協議会に対し、事業費の一部を補助する。 ●空き家や空き店舗の解消を図るため、ベンチャー企業等の誘致を促進し、ファンドを活用してリノベーションを支援する。 ●商工団体等が中心市街地の活性化を目的に行う事業に対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者等通行量 R2 平日:21,575人/日 休日:17,871人/日 ↓ R6 平日:24,286人/日 休日:20,540人/日 ■中心市街地商業等活性化事業実施件数)： H31 0件 ↓ R6 20件 (R2からの累計) ■リノベーション支援件数： H31 0件 ↓ R6 5件(1件/年) ■空き店舗数 R2 73件 ↓ R6 63件 ■市内での空き店舗等を活用して創業した延べ人数 H30 92件 ↓ R6 116件 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要を、現在の内容に合わせて変更する。 ・達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。 ■歩行者等通行量(変更前:中活計画掲載事業の実施件数(累計)) ■リノベーション支援件数(下方修正) ■空き店舗数(上方修正) ■市内での空き店舗等を活用して創業した延べ人数(上方修正)
		(3) 市内事業者の活動が活発化している	経済活動の活性化支援				
10	17	1	働く場づくりへの挑戦	地域商業活性化支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地区域内の空き店舗、空き事務所を賃借し、新規出店する者に対し、改装費・家賃を補助する。 ●中心市街地区域外の空き店舗等を活用した新規出店や既存店舗が店舗の改装等を行うことに対し補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内での空き店舗等を活用して創業した延べ人数 H30 92件 ↓ R6 116件 	
		(3) 市内事業者の活動が活発化している	経済活動の活性化支援				

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
11	23	1 働く場づくりへの挑戦	女性の活躍支援事業	<p>●地域社会活動における男女共同参画推進のため、政策・方針の立案や決定過程への参画促進のため、各種審議会等への女性委員割合を増やす。</p> <p>●職業生活における女性活躍支援のため、関係機関と連携して事業主(起業経営者)に対し、「女性活躍促進法」などを周知するとともに、女性が就業しやすい職場環境づくりのための普及・啓発を行う。</p>	<p>■各種審議会等に占める女性委員の割合： H31 28.3% ↓ R6 33%</p> <p>■職場における男女の地位が平等と感じる人の割合： H28 13.0% ↓ R6 上昇</p>	<p>・長期総合計画の指標と整合を図るため、達成度を測る指標を変更する。(下方修正)</p>	
		(4) 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている					
		若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人等の就労支援					
12	27	1 働く場づくりへの挑戦	フリーWi-Fi等通信環境整備事業	<p>●デジタルデバイドの解消、災害発生時の情報取得などを目的に、貸館公共施設や避難所などに公衆無線LANを整備する。</p>	<p>■公衆無線LAN整備施設 R3 0施設 ↓ R6 104施設</p>	<p>・令和4年度当初予算による事業の内容を踏まえ、検討中としていた事業概要及び達成度を測る指標を、新たに設定する。</p>	
		(4) 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている					
		若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人等の就労支援					
13	29	1 働く場づくりへの挑戦	外国人就労等への支援事業	<p>●市民や住民組織などと連携し、日本語学習や多言語での情報提供の充実を図るなど、外国人就労者等が地域社会で安全・安心に生活できる環境を創出するための取組を推進する。</p>	<p>■外国人住民が増加することを好意的に感じる市民の割合： R3 33.5% ↓ R6 40%</p>	<p>・今後設定するとしていた達成度を測る指標を、新たに設定する。</p>	
		(4) 若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人が働きやすい環境が整っている					
		若い世代、女性、高齢者、障害者、外国人等の就労支援					
14	42	2 交流人口拡大への挑戦	観光情報集約化事業	<p>●観光戦略プランに掲げる戦略的情報発信により、ターゲットに応じた情報発信や広域連携によるプロモーションに取り組む。</p>	<p>■広域連携プロモーション数： R2 13件 ↓ R6 17件</p>	<p>・達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。(変更前:H31 - , R6 増加)</p>	
		(2) まちの魅力を紹介できる市民が増加するなど、市を訪れる人に「おもてなし」を行う環境が整っている					
		観光推進体制の強化・人材育成					
15	44	2 交流人口拡大への挑戦	情報発信コンテンツ活用事業	<p>●観光PVを活用し、市ホームページの他に各旅行会社等への配布、デジタルサイネージでの放映により認知度向上を図る。</p> <p>●市ホームページに観光コースを紹介するとともに、市フェイスブックを活用した情報発信を行う。</p> <p>●シビックプライドの醸成のもと、市民協働によりインスタグラムなどSNSを活用した情報発信に取り組む。</p>	<p>■観光ページアクセス数： R2 35,512件 ↓ R6 70,000件</p> <p>■SNS「いいね」数： R2 4,238件 ↓ R6 10,000件</p>	<p>・達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて変更する。(変更前:H31 - , R6 増加)</p>	
		(3) 効果的なプロモーションにより、三原の魅力や観光情報が発信されている					
		戦略的情報発信					
16	46	2 交流人口拡大への挑戦	国際化推進事業	<p>●海外都市との交流や連携により市民同士の友好関係を育み、双方にとって有益な取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランド(パーマストン・ノース市) ・台湾(桃園市) ・他の海外都市 <p>●広島県国際観光テーマ地区推進協議会と連携するなど、インバウンド観光客への対応に向けた事業を実施する。</p>	<p>■地域に暮らす外国人や海外との交流など、国際交流ができる機会が充実していると感じる市民の割合： H30 4.1% ↓ R6 上昇</p> <p>■外国人観光客数 H31 40千人 ↓ R6 52千人</p>	<p>・達成度を測る指標の年号表記を、他の指標の表記と統一する。</p>	
		(4) 三原の魅力的な観光情報が海外に伝わり、多くの外国人観光客が訪れている					
		外国人観光客の受入環境整備					
17	47	2 交流人口拡大への挑戦	インバウンド誘客情報発信事業	<p>●広島空港を起点にタクシー等、二次交通を活用した広域周遊観光商品を提供する。</p> <p>●<u>新型コロナウイルスの影響から当面のターゲットを国内在住の外国人とし、日本カルチャーの体験などを含む観光商品を提供する。</u></p>	<p>■外国人観光客数 H31 40千人 ↓ R6 52千人</p>	<p>【総合戦略審議会からの意見】 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、インバウンド事業の位置づけを再検討すべきかと思う。まずは当面、国内観光がターゲットではないか。 ⇒上記意見を踏まえ、当面のターゲットを国内在住の外国人とする旨を記載。</p>	
		(4) 三原の魅力的な観光情報が海外に伝わり、多くの外国人観光客が訪れている					
		外国人観光客の受入環境整備					

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由	
		施策名						
		事業群						
18	48	2 交流人口拡大への挑戦		インバウンド観光客受け入れ環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル旅館業者に対し、ホームページの多言語化などインバウンド対応の環境整備をしたうえで、客室の内装改修費を補助する。 ●観光案内看板(サイネージを含む。)等の多言語化の整備を推進する。 ●FreeWi-Fiの設置を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人宿泊者数: H31 1,600人 ↓ R6 2,200人 	・観光案内看板はサイネージだけに限定されないため、事業概要を変更する。	
		(4)三原の魅力的な観光情報が海外に伝わり、多くの外国人観光客が訪れている						
		外国人観光客の受入環境整備						
19	49	2 交流人口拡大への挑戦		DMO推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●地域連携DMOを設立するとともに、民間事業者(DMC)と連携を図り、観光客数と観光消費額の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■DMC提供商品売上額(累計): H31 0円 ↓ R5 292,500千円 ■DMC造成ツアープログラム参加者数(累計): H31 0人 ↓ R5 3,300人 	<ul style="list-style-type: none"> ※上記いずれの指標もR5年度にR6年度の目標値を設定 	・達成度を測る指標の基準値及び目標値を変更する。
		(4)三原の魅力的な観光情報が海外に伝わり、多くの外国人観光客が訪れている						
		外国人観光客の受入環境整備						
20	50	2 交流人口拡大への挑戦		三矢の訓観光連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ●毛利三兄弟として、歴史的つながりがある安芸高田市、北広島町、三原市の2市1町において、相互に交流を図り連携を深める。 ●観光ガイドボランティアを養成する研修やグッズの開発・販売・イベントの開催などを共同で実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■観光ボランティア研修参加者数: H31 20人 ↓ R6 50人 ■共同イベント開催数 H31 3件 ↓ R6 5件 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者により「サムライゴゼン」や「サムライゴゼン弁当」として商品化され、既にイベント等への提供がなされているため、事業概要から以下の文言を削除する。「●県立広島大学との連携による「毛利戦国食」を広く周知するイベントの開催やレシピ提供による商品化を検討する。」 	
		(5)広域での連携により、交流人口拡大につながる効果的な取組が実施できている						
		広域連携に誘客						
21	54	3 子ども・子育て充実への挑戦		ひろしま出会いサポートセンター連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ●「ひろしま出会いサポートセンター」が行う婚活イベントの情報をホームページ等により周知し、婚活意識の啓発や婚活人口の発掘を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■婚活イベント実施回数(ひろしま出会いサポートセンターと連携での開催): H31 0回 ↓ R6 1回 	・事業概要及び達成度を測る指標を、R5予算審議資料(施策別)の事業概要の記載内容に合わせて変更する。(変更前:H31 -)	
		(1) 出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細かな支援体制が充実している						
		出会いから結婚までの支援						
22	57	3 子ども・子育て充実への挑戦		不妊検査・不妊治療費助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ●妊検査費・一般不妊治療費助成 ・助成額:自己負担の1/2(5万円上限) ・助成回数:1夫婦1回、ただし妊娠を経て再度行った治療は補助対象とする。 ●特定不妊治療費・男性不妊治療費助成 ・助成額:先進医療費から県の助成を差し引いた額(上限5万円) ・対象者:妻43歳未満の夫婦 ・助成回数:妻の年齢により1夫婦3~6回 ●不育症治療費助成事業(予定) ・助成額:年度に1回30万円上限 ・対象者:妻43歳未満の夫婦【いずれも市税等の滞納がない世帯】 	<ul style="list-style-type: none"> ■不妊検査費・不妊治療費助成が検査や治療開始のきっかけになったと回答した者の割合: H30 100% ↓ R6 100% 	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。	
		(1)出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細かな支援体制が充実している						
		妊娠・出産の支援						
23	58	3 子ども・子育て充実への挑戦		周産期医療体制維持継続等支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●本市における産科医療体制を維持継続するために、市民の分娩を取り扱う医療機関に対し、分娩体制を維持・継続するための経費の一部を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の分娩を取り扱う医療機関数(累計) H30 2箇所 ↓ R6 1箇所 	・令和2年度をもっておばたクリニックが休診となったため、達成度を測る指標を変更する。(下方修正)	
		(1) 出会いから結婚、妊娠、出産までのきめ細かな支援体制が充実している						
		妊娠・出産の支援						

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
24	60	3	子ども・子育て充実への挑戦	子育て世代包括支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠、出産、子育てに関する相談のワンストップ窓口として「子育て世代包括支援センター」において、切れ目のない相談支援を実施する。 ●センターでは保健師、助産師の専門職を配置し、妊娠期から就学までの母子の健康や子育ての相談及び支援を総合的に行う。 ●「子ども家庭総合支援拠点事業」を一体的に行い、要保護児童及び要支援児童の支援強化を行う。 ●ひろしま版ネウボラを導入し、乳幼児期の子育て家庭の状況を健診や相談で、全数把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健診、相談を通じた子育て世帯の状況把握率(4, 9～10か月健診の受診率を基に計測) R4 100% ↓ R6 100% R4年度から数値の把握を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要及び達成度を測る指標を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 「すくすく」拠点が増えたことにより、相談件数ではなく、各拠点が対象者を把握し、対処することをめざす。
25	62	3	子ども・子育て充実への挑戦	0～2歳児の保育等の受け皿づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ●既存施設の認定こども園への移行等により、保育施設整備の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■保育所・認定こども園(長時間利用)の待機児童数 H30 33人 ↓ R6 0人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要について、令和3年度から「私立認定こども園運営助成事業」(保育施設の移転、子ども園への移行、施設整備などへの助成)を実施することに合わせて変更する。 ・達成度を測る指標について、令和元年10月から始まった幼児教育保育の無償化で、利用者の選択する施設が変わってきたことにより、公立幼稚園を筆頭に利用定員を減らす傾向にあることから、利用定員増を指標とすることが困難になってきたため、変更する。(変更前: ■0～2歳児の保育等の受け皿(認定こども園・保育所・地域型保育)の利用定員数)
26	64	3	子ども・子育て充実への挑戦	みはら子育てネット活用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●市民と子育て支援団体及び行政が、双方向から情報を収集・発信しながらネットワークを形成できる子育て情報について、ホームページによる情報提供を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■月平均アクセス件数: R3 24,291件 ↓ R6 30,000件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新に伴い、アクセス件数計測方法が変更されたため、達成度を図る指標を変更する。(上方修正)
27	68	3	子ども・子育て充実への挑戦	乳幼児等医療費助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの疾病の早期発見・治療の促進と、全ての子育て家庭(0～18歳児童)の経済的負担の軽減を図るため、保険診療医療費の一部を助成する。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正に伴い対象者が変更するため、事業概要を変更する。 (対象者の変更) ・対象年齢 15歳(中学3年生)まで→18歳(高校3年生)まで ・所得制限の撤廃
28	69	3	子ども・子育て充実への挑戦	小児インフルエンザ予防接種費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ●生活保護世帯及び市税非課税世帯に属する0歳から中学生までの子どもに対し、季節性インフルエンザ予防接種費の助成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■インフルエンザ予防接種率: H31 10.8% ↓ R6 35% 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準値をH30からH31に変更するため、達成度を測る指標を変更する。
29	71	3	子ども・子育て充実への挑戦	第三子以降養育支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ●こども園等へ入所している就学前児童で、教育認定子どもの場合は、小学校3年生までの児童が3人以上いる世帯の3人目以降の就学前児童の保育料を無料とする。 ●保育所等へ入所している就学前児童で、保育認定子どもの場合は、就学前児童が3人以上いる世帯の3人目以降の就学前児童の保育料を無料とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学前人口の推移 H31 3,890人 ↓ R6 2,993人 	<ul style="list-style-type: none"> ・「国の動向等を見極めながら、事業実施していく」としていた達成度を測る指標を新たに設定する。
30	72	3	子ども・子育て充実への挑戦	ファミリーサポートセンター利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子育ての援助が必要な人(依頼会員)に対して、援助ができる人(提供会員)を紹介し、地域住民同士の相互援助活動を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■年間利用者数: H30 20人 ↓ R6 60人 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期総合計画の指標と整合を図るため、達成度を測る指標を変更する。(変更前: ■年間利用件数) ※従来の件数の場合、1人が複数回利用するケースがあり、必要とする人へサービスが行き渡っているか測れない部分があったため、利用者数へ変更する。

通し番号	事業番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
31	73	3	子ども・子育て充実への挑戦 (2)子育ての支援環境が充実している 安心して子育てできる環境整備	ひとり親家庭学び直し支援事業	●ひとり親家庭の学び直し支援として、高等学校卒業程度認定試験のための講座受講費用を補助する。	■事業利用者数: H31 0人 ↓ R6 1人	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H30 未実施)
32	76	3	子ども・子育て充実への挑戦 (2)子育ての支援環境が充実している 安心して子育てできる環境整備	児童館運営事業	●講座・イベント等を通して、0歳～18歳未満の全ての児童の健全な育成を図る。また、現在利用の少ない中高生を含め、全ての児童と保護者が気軽に利用できる自由な居場所となるよう、機能の充実に取り組む。	■年間延べ来館者数: H30 14,814人 ↓ R6 29,100人 ■中高生の年間延べ来館者数: H30 151人 ↓ R6 3,900人 ■中高生が関わるイベント実施回数: H30 2回 ↓ R6 24回	・児童館移転から一定期間が経過したため、事業名の「新児童館運営事業」を「児童館運営事業」に変更する。 ・達成度を測る指標を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。(全て上方修正)
33	79	3	子ども・子育て充実への挑戦 (3)魅力的な教育プログラムが行われており、三原の教育の質が高まっている 教職員の指導力向上及び児童生徒の体力向上	学ぶ力育成事業	●授業改善・指導体制の充実、指導力の向上、学びの支援体制の充実により、児童・生徒の学ぶ力を育成する。 【具体的な取組内容】 ・学習分析事業 ・研究推進事業 ・教職員研修の実施 など	■学力の定着状況(市内平均/全国平均): H30 小学校106.4 中学校100.8 ↓ R6 小学校110 中学校110	・学ぶ力育成事業として、指導力向上事業と学習支援事業を合わせて事業を進めており、予算書との整合を図るためにも、事業名を変更する。(変更前:指導力向上事業)
34	81	3	子ども・子育て充実への挑戦 (3)魅力的な教育プログラムが行われており、三原の教育の質が高まっている 教職員の指導力向上及び児童生徒の体力向上	情報教育環境整備事業	●学習指導要領に対応した学校教材・情報教育環境の充実を図る。	■ICT端末が1人1台環境である学校の割合: R1 0% ↓ R6 100%	・達成度を測る指標を、現在の内容に合わせて変更する。(変更前:■学習用コンピュータが1人1台環境である学校の割合)
35	82	3	子ども・子育て充実への挑戦 (3)魅力的な教育プログラムが行われており、三原の教育の質が高まっている 子どもたちの三原への愛着醸成	郷土愛育成事業	●社会との触れ合いの中で、郷土三原を愛する心を育む。 【具体的な取組内容】 ・こころの劇場の実施 ・郷土三原等文集の活用 ・キャリアスタートウィークの実施	■地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童生徒の割合: R1 小学校63.1% 中学校53.2% ↓ R6 小学校70% 中学校60%	・現在の内容に合わせ、事業概要の【具体的な取組内容】から以下の文言を削除する。「一校一貢献の取組」
36	84	4	市民の健康づくりへの挑戦 (1)健康づくりをはじめめるきっかけとなる機会が充実している 健康づくり活動への意識変容・行動変容の促進	健康長寿No.1をめざす取組の推進	●県立広島大学をはじめとした関係機関と連携し、健康寿命の延伸に向けた取組について普及啓発を図り、関係機関・団体の事業実施につなげる。	■取組実施機関・団体数: R3 18機関 ↓ R6 21機関	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 ・今後設定するとしていた達成度を測る指標を、新たに設定する。
37	88	4	市民の健康づくりへの挑戦 (2)市民が気軽に楽しく健康づくり活動に取り組んでいる 健康づくり活動の定着に向けた支援	食生活改善推進事業	●食生活改善及び食育を推進する人材の育成及び普及活動を推進することにより、市民の健康的な食習慣の定着を図る。	■食生活推進事業の年間参加者数: H30 5,712人 ↓ R6 6,300人	・達成度を測る指標を、より明確にするため変更する。(変更前:■食生活推進事業の参加者数)

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
38	89	4	市民の健康づくりへの挑戦	生涯活躍のまち推進事業	●市内に居住するシニア層が、仕事や地域活動、趣味や学びなどさまざまな活動を通じて、社会とのつながりを持って生活を送ることができるまちづくりを進める。	■事業への参加者数(累計): H30～R1 162名 ↓ R2～R6 650名 ■「生涯活躍」に対する意識に変化があった者の割合: R2 96.0% ↓ R6 90%	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(3) 高齢者が社会とのつながりを持ちながら生きがいを感じて暮らしている	高齢者の活躍促進のための取組強化				
39	94	4	市民の健康づくりへの挑戦	介護予防普及啓発事業(認知症関連)	●認知症予防に関する講座、講演会を開催し、正しい予防方法の啓発を行う。	■介護や支援を必要としない高齢者の割合: H30 80.7% ↓ R6 79%以上	・重層的支援体制整備事業の開始に伴う地域支援事業改編のため、事業名を変更する。(変更前:認知症予防活動支援事業)
		(3) 高齢者が社会とのつながりを持ちながら生きがいを感じて暮らしている	認知症予防の取組強化				
40	96	5	選ばれるまちへの挑戦	地域おこし協力隊の配置及び活動支援事業	●地域力の維持、活性化を図るため地域外の視点から、地域を支援できる地域おこし協力隊員を複数人配置する。 ●住民組織や市民活動団体と連携した活性化の取り組みを行い、任期終了後には地域内での起業及び定住を図る。 ●専門アドバイザーを設置し、活動のフォローアップを強化することで、活動成果の向上や退任後の市内定着を図る。	■地域おこし協力隊員の配置人数: H30 6人 ↓ R6 9人	・事業概要を、現在の内容に合わせて変更する。
		(1) 関係人口(三原の応援者や三原と関わりを持つ人)が増えている	関係人口創出の取組強化				
41	98	5	選ばれるまちへの挑戦	関係人口創出事業	●地方に関心を持つ都市住民に対し、様々な手段でアプローチを行うことで、地域との関係性を生み出し、多様な関係人口の創出を図る。 ●中間支援組織を置き、都市と地域のマッチングや関係機関等との連携を促進する。	■中間支援組織の機能強化: H31 - ↓ R6 R4年度以降に設定 ■取組団体数 H31 0団体 ↓ R6 15団体	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 ・事業概要の変更に伴い、達成度を測る指標を変更する。(変更前:■事業を通じて創出された関係人口)
		(1) 関係人口(三原の応援者や三原と関わりを持つ人)が増えている	関係人口創出の取組強化				
42	100	5	選ばれるまちへの挑戦	シティプロモーション推進事業	●本市が、市民から「住み続けたい」、市外の人から「住んでみたい」と思われる「選ばれるまち」となるため、市民や企業、市役所等が一体となり、まちの魅力の発掘や創造に取り組み、これらを市内外に情報発信することで認知度やイメージの向上につなげ、将来に向けて誰もが「〇〇なまち三原」と言えるブランドの確立をめざす。	■都市認知度(地域ブランド調査【民間調査】ランキング推移) H31 553位 ↓ R6 上昇 ■情報接触度(地域ブランド調査【民間調査】ランキング推移) H31 601位 ↓ R6 上昇 ■市に移住定住相談を行った人のうち、市のシティプロモーションを見て関心を持った人の割合 R2 62.2% ↓ R6 上昇	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 ・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(2) UIターン者を支援する体制が充実している	訴求力のある移住情報の発信				
43	110	5	選ばれるまちへの挑戦	空き家活用促進事業	●空き家の有効活用を促進する取組を行い、地域の活性化及び移住者の増加等に繋げる。 ●空き家を滞在体験施設、交流施設等へ活用し、地域の賑わいを創出する者に、その費用の一部を補助する(空き家活用モデル支援事業)。 ●空き家を活用して設置された学生向けシェアハウスへ市外から転入する学生に家賃の一部を補助する(学生市内居住促進事業)。	■空き家活用モデル支援事業補助件数: H31 0件 ↓ R2-R6 2件/年間	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(2) UIターン者を支援する体制が充実している	移住支援の取組強化				

通し 番号	事業 番号	基本目標		事業名	事業概要	達成度を測る指標	変更理由
		施策名					
		事業群					
44	111	5 選ばれるまちへの挑戦		ワンストップ窓口体制 強化事業	●移住検討者に対するスムーズな相談対応、移住定住に係る庁内の横断的な体制確保等を目的にワンストップ窓口機能を構築する。 ●ワンストップ窓口の強化、人材育成を推進し、移住検討者へのスムーズな対応へつなげる。	■移住支援世帯数 H30 23世帯 ↓ R6 上昇	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。
		(2) UIJターン者を支援する体制が充実している					
		移住支援の取組強化					
45	112	5 選ばれるまちへの挑戦		進出企業の移住定住 事業	●市の住環境、支援制度などのパンフレットを作成し、企業及びその従業員へPRする。	■進出企業へのPR数 R3 0件 ↓ R6 6件	・調整中としていた達成度を測る指標を新たに設定する。
		(2) UIJターン者を支援する体制が充実している					
		移住支援の取組強化					
46	113	5 選ばれるまちへの挑戦		奨学金返還支援事業	■広島県で実施中の「中小企業等奨学金返還支援制度導入応援補助金」と連携した支援(県補助額の1/2を補助)を行う。	■支援企業数(累計) R3 2件 ↓ R6 5件	・検討中としていた事業概要及び達成度を測る指標を、新たに設定する。
		(2) UIJターン者を支援する体制が充実している					
		移住支援の取組強化					
47	115	5 選ばれるまちへの挑戦		AI、RPA等のデータ 処理技術活用推進事 業	●AI-OCR、RPA、IoT等のデジタル技術・サービスの導入により業務改善と効率化を進め運用面や利活用面を念頭に市民サービスの向上を図る。 ●ニーズや根拠などのデータに根差した施策の立案に向けた、データ活用基盤の整備及び人材育成を行う。	■AI-OCR・RPA対応事業数 R3 22件 ↓ R6 50件	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 ・達成度を測る指標の数値を、事業進捗に合わせて新たに設定する。
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		まちの利便性向上に向けた取組の充実					
48	117	5 選ばれるまちへの挑戦		ローカル5GとICTによる生活環境向上モデル事業	●市民生活を取り巻くあらゆる分野において、ローカル5GをはじめとしたICT技術の活用により、市民の生活利便性や居住環境の向上を図る取組について検討・実施する。	■地域のデジタル化に向けた事業に関する実証実験支援件数: H31 0件 ↓ R6 9件 ■上記実証実験からの実装件数: H31 0件 ↓ R6 3件	・事業概要を、事業進捗や現在の内容に合わせて変更する。 ・今後設定するとしていた達成度を測る指標を、事業進捗に合わせて新たに設定する。
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		まちの利便性向上に向けた取組の充実					
49	119	選ばれるまちへの挑戦		キオラスクエア広場運営管理事業	●キオラスクエア広場を活用した中心市街地の賑わい創出に資するイベントの開催により、集客拠点として機能させ、賑わいを周辺エリアに波及させるために全体管理協議会を通じた施設内及び周辺地域と連携した取組を実施する。	■年間イベント数 R3 37件 ↓ R6 100件	・事業進捗に合わせて、事業名、事業概要及び達成度を測る指標を変更する。(事業名(変更前):駅前東館跡地整備・活用事業/達成度を測る指標:下方修正)
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		移住先として魅力的なまちに向けた取組強化					
50	121	選ばれるまちへの挑戦		中山間地域活性化事業	●中山間地域の地域住民が「地域計画」に基づいて、主体的に取り組む地域の維持・活性化の活動に対して支援を行う。	■地域活動が以前より活発化していると感じる中山間地域の住民組織(活動中核組織)の割合: H30 61.1% ↓ R6 80.0% ■以前より地域での暮らしに安心感が高まっていると感じる中山間地域の住民組織(地域中核組織)の割合: R2 41.6% ↓ R6 100%	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		移住先として魅力的なまちに向けた取組強化					
51	122	選ばれるまちへの挑戦		中山間地域コミュニティビジネス支援事業	●地域資源を活用した特産品づくりや製造・販売関連施設、観光施設等の整備など、中山間地域の住民組織が実施する地域の活力を引き出すコミュニティビジネスの創出や事業拡大等の経費の一部を支援する。	■まちづくり三原が開関わった事業化件数(累計): R2 1件 ↓ R6 30件	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		移住先として魅力的なまちに向けた取組強化					
52	124	選ばれるまちへの挑戦		まちづくり三原自立支援事業	●中心市街地におけるマネジメントやコーディネート機能を有する(株)まちづくり三原に対して、自主事業への取組を促すとともに、安定的・継続的・自立的な運営に向けた支援を行う。	■まちづくり三原が開関わった事業化件数(累計): R2 1件 ↓ R6 30件	・達成度を測る指標の基準値を変更する。(変更前:H31 -)
		(3) 利便性が高く、魅力ある生活を送ることができるまちになっている					
		移住先として魅力的なまちに向けた取組強化					

3 事業の廃止を行うもの

通し 番号	基本目標		事業名	廃止理由
	施策名			
	事業群			
1	1 働く場づくりへの挑戦	(1) 新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている 市内産業団地への企業誘致	産業団地整備事業 (本郷・新規)	令和3年度をもって事業が完了したことに伴い廃止する。
	1			
2	1 働く場づくりへの挑戦	(1) 新たな企業誘致により多くの雇用が創出されている 強みを活かした企業誘致	産業用地調査・整備 事業	令和2年度をもって調査事業が終了したことに伴い廃止する。
	2			
3	1 働く場づくりへの挑戦	(4) 若い世代、女性、高齢者、 障害者、外国人が働きやすい 環境が整っている 若い世代、女性、高齢者、 障害者、外国人等の就労支 援	障害者就労支援事業	令和5年度から事業拡充するため、廃止する。
	3			
4	2 交流人口拡大への挑戦	(1) 「三原ならではの」魅力的 なコンテンツが整っており、市 を訪れる人が周遊・滞在してい る 観光メニューの開発	トリエンナーレ開催事 業	令和2年度をもって事業が終了したことに伴い廃止する。
	4			
5	2 交流人口拡大への挑戦	(3) 効果的なプロモーションに より、三原の魅力や観光情報 が発信されている 戦略的情報発信	観光プロモーション事 業	メディアリレーションの活用は、主にDMCが担っていくため、廃止する。 (令和3年度以降 メディアリレーションに係る予算措置なし)
	5			
6	2 交流人口拡大への挑戦	(3) 効果的なプロモーションに より、三原の魅力や観光情報 が発信されている 戦略的情報発信	ふるさと情報発信事 業	令和3年度をもって事業が終了したことに伴い廃止する。
	6			
7	3 子ども・子育て充実への挑戦	(2) 子育ての支援環境が充実 している 仕事と家庭の両立支援	働き方改革・ワークラ イフバランス普及啓発 事業	令和4年度をもって指標としていた広島県の制度が廃止されたことに伴い、事業を廃止する。
	7			
8	3 子ども・子育て充実への挑戦	(3) 魅力的な教育プログラムが 行われており、三原の教育の 質が高まっている 子どもたちの三原への愛着 醸成	ふるさと子ども博士講 座事業	令和3年度をもって事業が終了したことに伴い廃止する。
	8			
9	3 子ども・子育て充実への挑戦	(3) 魅力的な教育プログラムが 行われており、三原の教育の 質が高まっている 子どもたちの三原への愛着 醸成	キャリア教育推進事業	令和2年度をもって事業が終了したことに伴い廃止する。
	9			
10	4 市民の健康づくりへの挑戦	(2) 市民が気軽に楽しく健康づ くり活動に取り組んでいる 健康づくり活動の定着に向 けた支援	ウォーキングのまち三 原推進事業	令和4年度をもって事業が終了したことに伴い廃止する。 (市民提案型協働事業等、類似事業の活用が推進されているため本事業を整理した。)
	10			

4 事業数について

変更前	追加	廃止	変更後
122	12	10	124